

**学校法人木下学園 カナン国際教育学院
自己点検・評価(2025年度)**

- A: 当該項目が「達成されている」、もしくは「適合している」場合
 B: 当該項目以上が「一部未達成」であるが今年度中に達成もしくは適合が確実な場合
 C: 当該項目が「未達成」、もしくは「適合していない」場合

項目	番号	小項目	点検項目	評価
理念・教育目標	1-1.	学校の理念・目標及び育成する人物像が、社会のニーズに合致していることが確認されている。	社会ニーズ(進学・就職動向、制度改正等)について、年1回以上分析を実施し、その結果を文書として記録・保存している。	A
	1-2.	学校の理念・目標及び育成する人物像が明確に定められている。	理念・教育目標・育成する人物像を文書として明文化し、学校案内やホームページ等において最新情報として公開・更新している。	A
	1-3.	学校の理念・目標及び育成する人物像が、教職員及び学生に周知されている。	理念・教育目標について、教職員及び学生に対し周知を行い、教職員の理解度がアンケート等により80%以上であり、学生への配布資料は100%配布されている。	B
	1-4.	教育理念に基づいて教育目標が具体的に設定されており、理念・目標・教育実践のつながりが一貫性をもって明確に構築・運用されている。	教職員は「教育理念」と「教育目標」が、お互いこのように関連しあっているか説明できる。	B
	<p>《課題と改善策》 理念・教育目標については教職員及び学生への周知を実施しているが、アンケート等の理解度を測る体制を整えるまでには至らなかった。また、教育理念と教育目標の関連性について、全教職員が十分に説明できる状態には至っていない。今後は、教職員及び学生を対象としたアンケート等を実施し、理解度を定期的に確認するとともに、職員研修や会議を通じて理念と教育目標の関連性について理解を深め、全教職員が説明できる体制の整備を図る。</p>			

学校運営	2-1.	認定日本語教育機関認定基準への適合状況について、年1回以上確認が行われている。	認定日本語教育機関の基準への適合状況について、年1回以上チェックリスト等により確認し、記録している。	A
	2-2.	短期及び中長期目標が教職員間で周知されている。	短期及び中長期目標を教職員に周知し、理解度についてアンケート等により80%以上であることを確認している。	B
	2-3.	組織運営及び意思決定システムが適切に整備されている。	組織図及び職務分掌を整備・更新し、意思決定に関する会議について議事録を作成し、全て保存している。	A
	2-4.	人事、賃金及び財務管理に関する規程が整備されている。	人事、賃金及び財務管理に関する規程を整備し、年1回以上見直しを実施するとともに、関係職員に対して周知している。	A
	2-5.	コンプライアンス体制が整備されている。	コンプライアンスに関する研修を年1回以上実施し、教職員の参加率が90%以上である。	A
	2-6.	学校運営を俯瞰的に評価し、維持・向上させるための機能が整備されている。	自己点検・評価及び外部監査を年1回以上実施し、その結果に基づく改善内容を記録・共有している。	A
	<p>《課題と改善策》 短期及び中長期目標については周知を行っているが、理解度を確保するためのアンケート等は未実施である。来年度はアンケートを実施し、その結果を分析・共有することで、教職員への目標の浸透を図る。</p>			

情報公開	3-1.	機関の設置者、教育内容、定員、進路等の情報をホームページ等で公開している。	学校概要、教育内容、定員、進路実績等をホームページ等で公開し、その公開の情報を毎年度確認している。	A
	3-2.	募集及び納付金に関する情報を公開している。	募集要項および納付金に関する情報を適切に公開し、情報内容は分かりやすく明示している。	A
	3-3.	入学希望者やその関係者に理解できる言語で情報提供を行っている。	募集対象国・地域に応じた言語対応を実施している。また、情報内容の正確性および最新性を維持している。	B
	3-4.	情報は十分に整理されて公開されており、必要な情報がどこにあるかが分かりやすく示されている。	公開情報を整理し、利用者が必要な情報へアクセスしやすい構成を維持している。また、ホームページ等の掲載内容を定期的に確認している。	A
	3-5.	公開されている情報は常に最新のものに更新されている。	公開情報を定期的に確認し、最新の状態を維持している。また、変更発生時は速やかに更新を行っている。	A
<p>《課題と改善策》 募集資料や情報については常に最新性を保ち、情報発信を行っているが、一部のホームページについては情報更新に時間を要する場合がある。今後は更新スケジュールを管理するとともに、各言語版の掲載内容を定期的に確認し、日本語版と同様に最新情報を迅速に公開できる体制を整備する。</p>				

教育活動を担う教職員	4-1.	各部署の職務内容、責任者、及び権限が明確に定められ、教職員間に周知されている。	職務内容、責任者及び権限を文書化し、年1回以上見直し、教職員へ周知している。	A
	4-2.	教育目標の達成に必要な教職員の能力及び資質が明示されている。	教育目標達成に必要な教職員の能力及び資質を明示し、採用・評価基準に反映している。	B
	4-3.	教職員の評価が適切に行われている。	評価基準に基づき年1回以上評価を実施し、結果を本人へフィードバックしている。	A
	4-4.	教職員評価システムについて、継続的な検討及び改善が行われている。	教職員評価システムを年1回以上見直し、改善内容を記録している。	A
	4-5.	教職員の教育の質及び学生支援力の向上を目的とした研修等の取り組みが行われている。	教職員研修を年1回以上実施し、実施状況を記録している。	A
《課題と改善策》 教員採用時に実施する模擬授業については、学院の教育理念との一層の整合を図る観点から、提示する場面や行動目標の設定を見直し、より理念に基づいた評価が行えるよう改善の余地がある。				

教育環境	5-1.	学校の施設・設備が、認定日本語教育機関認定基準に基づいて整備されている。	認定基準に基づき施設・設備を整備し、年1回以上点検を実施し、結果を記録している。	A
	5-2.	教室において、十分な照度及び換気が確保され、必要な遮音性が保たれている。	教室の照度・換気・遮音性について年2回以上点検を行い、結果を記録している。	A
	5-3.	視覚教材及びICTを活用した授業が可能な教育用機器・設備が整備されている。	ICT及び視覚教材を活用した授業が可能な環境を整備し、機器の点検を年1回以上実施している。	A
	5-4.	授業時間外に自習可能なスペース及び学習リソースが提供されている。	自習スペース及び学習リソースを提供し、利用状況や満足度を把握している。	A
《課題と改善策》				

教育活動の計画	6-1.	教育理念及び教育目標の達成に資するカリキュラムが編成されている。	教育理念及び教育目標に基づきカリキュラムを編成し、年1回以上見直している。	A
	6-2.	教育理念及び教育目標に適合した教材が選定されている。	教育理念及び教育目標に適合した教材を選定し、年1回以上見直している。	A
	6-3.	学生の熟達度が、国内又は国際的な習熟度の枠組みに基づいて測定されている。	学生の熟達度を、国内又は国際的な習熟度の枠組みに基づき、設定したレベル修了時ごとに測定・評価している。	A
《課題と改善策》				

教育活動の実施	7-1.	教育活動の計画が教職員全体に周知されている。	教育活動の計画について、学期開始時等に教職員へ説明を実施し、配布資料又は説明記録を残している。	A
	7-2.	教育内容及び教育方法について、教職員間で共通理解が図られている。	教育内容及び教育方法について、教員会議等を定期的に行い、協議内容を議事録として記録している。	A
	7-3.	学生の日本語能力が試験等により適切に把握され、適正なクラス編成が行われている。	学生の日本語能力を入学時及び定期試験により測定し、その結果に基づきクラス編成を行っている。	A
	7-4.	教育活動の振り返り及び改善に活用するため、授業記録が作成され、関係教員間で共有されている。	授業ごとに記録を作成し、教員間で共有できる状態で管理している。	A
	7-5.	カリキュラムの妥当性及び教授法について検証するための体制が整備されている。	カリキュラム及び教授法について、年1回以上検証会議を実施し、その結果を記録している。	A
《課題と改善策》				

成績判定と評価	8-1.	学習成績の判定基準及び方法が定められ、学生に周知されている。	学習成績の判定基準及び方法を文書(シラバス等)に明記し、全学生に配布し、かつ説明を実施している。	B
	8-2.	成績判定結果が学生に適切に伝達されている。	成績判定結果を全学生に対して通知し、必要に応じて面談等によるフィードバックを実施している。	A
	8-3.	評価基準の妥当性について、定期的な検証が行われている。	評価基準について、年1回以上見直しを行い、その結果を記録している。	A
	<p>《課題と改善策》 学習成績の判定基準及び方法については、学則及び学校ホームページ等において一定の情報を示している一方で、各科目における評価項目、評価方法及び成績算出方法の体系的な資料化や、統一的に説明する仕組みは十分に整備されていない。今後は、評価基準や成績判定方法について学生が随時参照できる環境を整備するとともに、周知方法の標準化を図り、学習成果の評価に関する透明性の向上に取り組む必要がある。</p>			

卒業の認定及び学習の成果	9-1.	卒業認定の判定基準及び方法が定められ、学生に周知されている。	卒業認定の判定基準及び方法を定め、学生へ周知している。	A
	9-2.	卒業認定基準の妥当性について、定期的な検証が行われている。	卒業認定基準について、年1回以上検証を実施している。	B
	9-3.	学生の学習成果が適切に管理されている。	学生の成績及び到達度を個別に記録し、一覧又はデータとして管理している。	A
	9-4.	学習成果について定期的な検証が行われ、改善に向けた取り組みが実施されている。	学習成果について年1回以上分析を行い、改善会議等を実施し、その結果を記録している。	A
<p>《課題と改善策》 卒業認定基準については設定されており、その内容に基づき判定を行っているが、運用状況の検証については十分とは言えない面がある。今後は、定期的な検証をより体系的に実施し、基準の適切な運用及び妥当性の確保に取り組む必要がある。</p>				

学生支援	10-1.	進路指導担当者が特定され、学生に周知されている。	進路指導担当者を定め、学生に対し担当者及び相談窓口を明示し、オリエンテーション等で周知した記録を残している。	A
	10-2.	学生の希望する進路が把握・管理されている。	学生の進路希望について、年1回以上面談等により把握し、記録として管理している。	A
	10-3.	進路に関する資料及び情報が継続的に収集され、学生に提供されている。	進路に関する情報を収集し、年1回以上ガイダンス等を実施し、その内容を記録している。	A
	10-4.	留学生活に関するガイダンスが定期的実施され、日本社会への理解及び適応を支援する取り組みが行われている。	留学生活に関するガイダンスを年1回以上実施し、実施内容及び参加状況を記録している。	A
	10-5.	生活指導担当者が特定され、学生に周知されている。	生活指導担当者を定め、学生に対し相談方法を周知し、その実施記録を残している。	A
	10-6.	学生の心身の健康管理及び、事故・怪我発生時の対応体制が整備されている。	学生の健康管理について定期的に状況を把握するとともに、事故・怪我発生時の対応手順を定め、必要に応じて対応記録を作成している。	A
	10-7.	火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法が定められ、避難訓練が定期的実施されている。	災害時の避難方法を定め、避難訓練を年1回以上実施し、その実施記録を保存している。	A
	10-8.	災害等による転学支援体制が整備され、学生に周知されている。	災害等に備えた転学支援の手順を定め、学生に対し説明を行い、その周知記録を残している。	B
<p>《課題と改善策》 転学支援については、手順の整備は完了しているが、学生への説明・周知が未実施である。来年度はオリエンテーション等で学生へ説明を実施し、周知記録を作成・保管することで、制度の適切な運用を図る。</p>				

在籍管理と生活指導	11-1.	健康及び衛生面に関する指導体制が整備されている。	入学時及び年1回以上、健康・衛生に関する指導を実施し、実施記録を作成している。	A
	11-2.	入管法上の留意点について、学生への説明及び指導が定期的に行われている。	入学時及び年1回以上、入管法に関する説明を実施し、参加者及び内容を記録している。	A
	11-3.	不法残留、資格外活動違反、犯罪関与等を防止するための取り組みが行われている。	出席状況を管理し、出席率が基準を下回る学生に対して面談・指導を実施し、その記録を作成している。	A
<p>《課題と改善策》</p>				

入学者の募集と 選考	12-1.	教育理念及び教育目標に沿った学生受入方針が定められ、年間募集計画が策定されている。	教育理念及び教育目標に基づき学生受入方針を定め、年間募集計画を策定している。	A
	12-2.	職員による入学志願者への情報提供及び入学相談が行われている。	入学志願者に対し、職員による情報提供及び入学相談を実施している。	A
	12-3.	学習者及びスポンサーが正確な情報を理解し、納得した上で入学を希望していることが確認されている。	学習者及びスポンサーが提供情報を理解し、入学意思を確認している。	B
	12-4.	海外募集代理機関の妥当性及び安全性が確認された上で業務提携が行われ、最新かつ正確な情報が提供されている。	海外募集代理機関の適正性を確認した上で契約し、必要な情報提供を行っている。	A
	12-5.	入学選考基準及び方法が定められ、適切な体制で入学選考が行われている。	入学選考基準及び方法を文書化し、選考を実施するとともに、選考過程及び結果を記録している。	A
	12-6.	入学志願者の学習能力、学習意欲及び日本語能力等が適切に確認されている。	入学志願者に対し、試験及び面接を実施し、学習能力、学習意欲及び日本語能力を確認し、その結果を記録している。	A
<p>《課題と改善策》 スポンサーについては、提出書類により確認を行っているが、海外在住者が多いため、全てのスポンサーに対して直接面談による意思確認を実施することは難しい。 そのため、提出書類による確認を基本としつつ、必要に応じて電話やオンライン面談を活用し、スポンサーの理解状況や支援意思を確認できる体制の充実を図る。</p>				

財務	13-1.	中長期的に安定した財務基盤が確保されている。	中長期的な財務計画を策定し、収支状況を定期的に確認し、その内容を記録している。	A
	13-2.	予算及び収支計画が有効かつ妥当なものとして策定されている。	年度ごとの予算及び収支計画を策定し、実績との差異を分析し、その結果を記録している。	A
	13-3.	財務に関する会計監査が適切に実施されている。	財務に関する会計監査を年1回以上実施し、その結果を記録している。	A
	13-4.	募集に関する仲介手数料が適正な金額であることが確認されている。	募集に関する仲介手数料について基準を定め、契約内容及び支払状況を確認し、その記録を管理している。	A
<p>《課題と改善策》</p>				

法令順守	14-1.	各種法令等を遵守した適切な学校運営が行われている。	関係法令及び認定基準に基づき運営を行い、年1回以上遵守状況の確認を実施し、その結果を記録している。	A
	14-2.	個人情報保護に関する取り組みが行われている。	個人情報保護に関する規程を整備し、教職員に対し年1回以上研修を実施し、その内容を記録している。	B
	14-3.	自己点検・評価が実施され、継続的な改善が行われている。	自己点検・評価を年1回以上実施し、改善計画を策定し、その内容を記録している。	A
	14-4.	自己点検・評価の結果が公開されている。	自己点検・評価の結果を毎年度、定められた方法(HP等)で公開し、その実施を確認している。	A
	14-5.	関係省庁への届出及び報告が遅滞なく行われている。	関係省庁への届出及び報告について、期限内に提出し、その記録を管理している。	A
<p>《課題と改善策》 個人情報保護に関する研修が未実施であったため、今年度中に研修を実施するとともに、実施記録を作成・保管し、教職員への周知及び理解の徹底を図る。</p>				

地域貢献・ 社会貢献	15-1.	学校の資源及び施設を活用した社会貢献・地域貢献活動が行われている。	学校の資源及び施設を活用した地域・社会貢献活動を年1回以上実施し、その内容を記録している。	A
	15-2.	学生に対して、ボランティア活動への参加を促すための奨励及び支援が行われている。	学生に対しボランティア活動の機会を提供し、参加状況を把握するとともに、その実施内容を記録している。	C
<p>《課題と改善策》 現時点では学生へのボランティア活動の機会提供ができていないため、今後は地域との連携を強化し、学生が積極的に参加できるボランティア活動の機会を設けていきたい。</p>				